

1年次生を対象に、6月1日(月)に東大 Global 講演会、6月4日(木)に進路講演会を行いました。

東京大学をはじめ多くの大学で教鞭をとられる宇野健司先生を講師に迎え、講義では留学による成長について、続く東大形式のディスカッションでは「勉強の意義」を深く議論しました。これから Global I で課題研究を始める 1 年次生にとって、多角的な視点と高い志を持って学びに挑む重要性を実感する、充実した時間となりました。

～生徒の感想～

「ディスカッションの仕方を学ぶことができました。笑顔で話したり時間配分を考えたりするなど、人のことを考えて話すことはもちろん、勉強をすることによって高いコミュニケーション能力を身につけられると思いました。」

「勉強は自分の可能性を広げるためにも必要だし、社会をより良くするのに大切だとわかりました。今頑張れば自分の夢に一步近づけると思ったし、交換留学について知って自分も留学してみたいと思いました。」

進路講演会では、代々木ゼミナールから藤井健志先生をお招きしました。講演では、「どんな人間になりたいか」という長期的な視点で進路を捉えることの大切さや、努力は思わぬ形で報われるというメッセージをいただきました。また、学習面では「好奇心・理解・回数」を意識し、単なる暗記ではなく基礎(基本)を徹底する具体的な手法が伝授されました。

今回は東大野球部 OG の奥畑さんも同行され、生徒に近い立場から学習や生活への助言をいただきました。初の実力テストを 1 週間後に控え、生徒たちのモチベーションが大きく高まる貴重な機会となりました。放課後には、本校野球部でも奥畑さんの話を伺う機会を設けることができました。

～生徒の感想～

「夢の設定は短すぎると達成後に何をしたいか分からなくなるため、大きな目標は遠い未来に置くべきだと学びました。また、自分から予習をすることや基礎を固めるという「積極性」が、お勉強から大人の学びへ変える鍵であることがわかりました。」

「高校 1 年生のうちに自分に合った学習スタイルを見つけたいと思いました。また、丸暗記ではなく背景を理解することで長期記憶につなげていきたいです。」



実力テストと併せて進路志望調査も行う時期なので、2つの講演会を通して将来を多角的に考えられたことは、進路意識を高めるためのまたとない機会となりました。